

新潟支部会報



一般社団法人 大学女性協会新潟支部
2021年7月 No. 4

目次

表紙、支部総会報告・・・1頁	会員近況報告など・・・6頁
支部長挨拶・・・2～3頁	2021年度新潟支部奨学賞応募要綱・・・7頁
全国支部長会議報告・・・4頁	今後の予定等・・・8頁
支部活動報告など・・・5頁	

2021年度(一社)大学女性協会新潟支部 総会報告

昨年に引き続き書面による開催とし、4月24日までに、下記の議案について表決書を郵送回収しました。

表決結果

表決書提出数 27 規約に則り会員31名に対し出席定数を超えたため、総会成立

第一号議案 1, 2020年度事業報告 2, 2020年度収支決算報告 3, 監査報告	【承認 27 否認 0】
第二号議案 1, 2021-2022年度 役員	【承認 27 否認 0】
第三号議案 1, 2021年度事業計画 2, 2021年度収支予算	【承認 27 否認 0】

2021年度～2022年度運営体制

〈役員〉

支部長	大淵智絵	鈴木裕美
副支部長	田代信子	三上杏里
会計	阿部美知子	仲川幸子
書記	登坂美江子	吉谷美知子

〈部会〉

<u>男女共同参画部</u>	<u>国際交流部</u>
部会長 高橋令子	部会長 三上杏里
副部会長 吉谷美知子	副部会長 田代信子

<u>社会学習部</u>	<u>親睦部</u>
部会長 登坂美江子	部会長 井上里恵子
副部会長 佐藤恵美子	副部会長 長谷川道子

〈監事〉 五十嵐由利子 長谷川かよ子

*役員会は上記の〈役員〉により行われます。

*運営会議は上記〈役員〉と〈部会〉の代表者により行われます。



交流団体などにおける当会推薦の役員は次の通りです。

- ・新潟県立大学後援会 顧問 大淵智絵
- ・(公財)新潟県女性財団 評議員 五十嵐由利子
- ・にいがた女性会議 運営委員 大淵智絵

*田代信子さんが県立大学後援会顧問を2年間、高橋令子さんが新潟県女性財団評議員を6年間務め、このたび勇退されました。お疲れさまでした。

就任ごあいさつ

支部長就任によせて

大淵智絵

冒頭に、今期の運営で私が支部長として心掛けたいことをお知らせします。

一つ目は、なるべく多くの会員の手をすこしずつ借りて、運営をすること。まずは鈴木裕美さんとの支部長二人体制です。そして今年の役員体制の中では「会報」「支部奨学賞」の作業を副支部長さん中心にチーム制にして複数の役員に関わっていただいています。そして「部会」「月例会」。昨今はパソコンやインターネットサービスの利用で、一人あたりのできる仕事量がとても大きくなりました。作業の積み重ねが会の成果です。会の運営ではできることを積極的に持ち寄り協力しあうこととあわせ、だれでもが作業に参加できる仕組みも大切です。また、ウィルス禍にあたり活動にも変化が必要ですが、こういったときこそアイデアを出し合うことが大切です。ご協力を何卒よろしく申し上げます。

二つ目は会員の皆さんへ情報提供の見直しです。昨年からの会の活動はオンラインが浸透し、役員会では Zoom を利用して活発に話しあわれています。たいへん便利ですがこれは万能ではなく、みなさんご承知の通り環境面の都合で参加できなくなる方もいらっしゃいます。ほかにも様々な事情でご参加が難しい方が増えました。そのような中でも会員の一体感やコミュニケーションを保つために、メールやホームページなどのウェブ媒体とあわせ、会報などの紙媒体もあらためて活用したいと思います。近年は郵送費用や効率化の面からお届けする通信の量を調整してきました。今期は内容をなるべく細やかに、お伝えする情報を見直し、以前のようにお目にかかる機会が減った分は会や個人の近況報告としてお伝えしたいと思います。

私は 2003 年に入会し、当初は財務部やお茶会計の担当で奨学賞や運営の資金作りから活動を深めました。調査報告の作業では何度もお顔をあわせていく中で、先輩方と交流ができました。この間おかげさまで私の人生にも様々な出来事がありましたが、折々に先輩方からのあたたかなアドバイスや思いやりに触れ、私自身の財産になっていることは間違いありません。感謝をこの度の役でお返しできるようにと思います。

新潟支部にとって支部奨学賞など新潟の女子学生への支援は今でもこの会の根幹であり、先輩方の努力の結晶である原資をどう役立てるべきか十分に考えた上でこれからも大切にしたい事業です。国際奨学賞は 20 年を超えました。そして「新しいことを知り学ぶこと」も。これは学習会のほかにも、調査活動としても実践され広く役立てようとこれまで報告を続けました。今年度も昨年に続き制約が多い中、各部会が工夫して学ぶ機会を設けます。

ここ 10 年ほどで会が掲げる目的や事業の意義、世の中も変わり、社会調査もグループ結成もスピードアップし具体的な目的ごとにはできるようになりました。あたらしいことを、あたらしいかたに、そういった先輩方のお心意をありがたく享受しながらも、過去を唱えることを止めようとは思いません。なぜなら、この会の本質は利己ではなく利他。女性の教育は社会を良くするという理念のもとでの「社会奉仕」であることを忘れずにいたいからです。自分が受けた恩恵を還元しようという精神で生まれた集まりで、個人が特定の利益を受け取るための団体ではありませんでした。大学女性協会は世界中の妹たちを思いやり、仲間を尊敬し助け合ってきたから長く続いてきたのだと考えます。今後できることや生み出すものが変わっても、ふさわしい会員であろうという心だけは変わらず会そのものなのだと思います。これからもそれぞれのステージを持つ会員にとっての港であれと思います。

支部長としては至らない点ばかりで反省の毎日ですが、役員部会を中心に皆で積み上げた事業に加え、この立場としては「会員のためにどんな工夫ができるか」を念頭に、より多くの会員が関わって思いを共有できる運営に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

二度目の支部長お引き受けに際して

鈴木裕美

教育の意義、特に女性の教育の意義は社会を良くしてゆくという信念のもと、貸与でなく支給の形で奨学金を女子大学生に差し上げて研究に寄与していただくこと、また協会員相互に研究・研鑽をつみ、お互いのきずなを深めて各人の得意分野で新しい事業等に連携してゆくこの会の基本姿勢に対し、改めて魅力を感じている。新しい年度に入り、若手期待の星の大淵さんが支部長をお引き受けくださった。重責の任務には適任であるが、長丁場の任を引き受けてくださったことはまたとない幸せであると思っている。

周りの先輩・同輩方に支えられながら自身が曲りなりに勤め、学びも多かった支部長時代をふりかえってみても感謝この上ないことである。

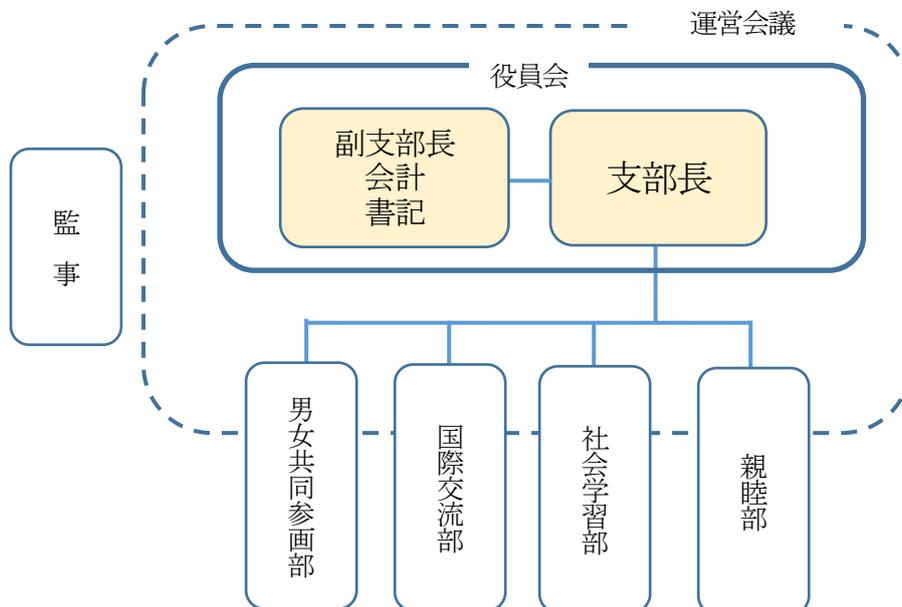
自身が別活動である調停活動に邁進していたこの15年、特に理事や副会長を務めねばならなかったこの数年、当協会を引きいてくださった各代の支部長方はそれぞれの特性を生かされて現在に至っている。そうこうしているうちにうちにすっかり浦島太郎状態になっていたところを、大淵新支部長に見いだされてお声掛けいただいた。

大車輪のご活躍である大淵さんのお手伝い、後ろ盾として微力を尽くしたいと思えたことは当然の流れでもあった。若い感覚に期待し、お手伝いさせていただければありがたいとも思っている。先日のオンライン全国支部長会議でも時代の流れに即した活動への力強い模索と誠実な本部の姿勢に接することが出来、皆様のご指導ご鞭撻をいただいて、支部へも還元できることに自身も尽力できればと願っている。



役員会・運営会議のオンライン開催も慣れてきました。
多くの方々に参加していただけるのが嬉しいです。

大学女性協会新潟支部の組織図も整理しました。わかりやすい運営と発信に力を注いでいきます。



全国支部長会議 報告

2021 年 5 月 23 日 13:30~15:30 オンライン

昨年春に中止された全国総会と全国支部長会議ですが、本年の総会は規模を縮小して本部事務所で、全国支部長会議はオンラインにて開催され、新潟支部からは全国支部長会議へ大淵、鈴木両支部長が出席しました。

冒頭に加納孝代会長からの挨拶があり、創設から一般社団法人化への歴史、一般社団法人化以降の財産の状況、資金の考え方についてふれました。内容は次の通りです。

【加納会長より】

一般社団法人化以前の財産は計画に沿って 2028 年度までに公益事業のために完全に使い切る必要があり、それ以降の財産は、先輩が作ってくれたように新たに生み出していかなければならない。80 周年募金（パトリシア募金）にも積極的に協力いただきたい。先輩が行ってきた事業を引き継いで行くためには、それに匹敵する資金を用意する必要があるが、今後私たちは何をしたいのか、そのためには何をすべきかが問われている。日本を良くするためには女性が学ばなければならない、という当初からの会の理念を信じて取り組みたい。



大淵

同日午前中に本部で実施された総会について、2~5 号議案が表決書により承認されたこと、1 号議案が審議未了につき、継続会での審議となることも報告されました。以後、各委員会と担当から会務の説明と活動報告がありました。抜粋して記載します。

【本部からの各委員会及び担当からの会務の説明と活動報告抜粋】

- ・企画委員会 2021 年度 JAUI 全国セミナーについて（8 ページに詳細を記載します）
- ・企画委員会 「コロナ禍における現況調査」第 2 回を実施する。この調査は複数年の調査を経てまとめることとする。
- ・委員会は関心のあるものへ全国の支部会員からも積極的に参加をしてほしい。最近では Zoom の活用でいっそう参加しやすくなっている委員会もある。
- ・ホームページ担当 アーカイブを充実させる。会報ほか支部の発行文書も Web 上で保管できるので活用を。
- ・支部担当 今後、支部間の情報交換と交流の場を設ける。



大淵

本部の委員会活動は、親睦事業委員会、収益事業委員会、文化事業委員会、生涯学習委員会には収益を意識して「いろいろなところから新しいものを取り上げよう」と工夫が見られました。調査・研究委員会、各奨学委員会、文化交流委員会、国際ネットワーク委員会へは地方の支部からの参加も多く、翻訳チーム、提言啓発活動、調査の集計などで活躍しているとのことでした。特に最近では活動のオンライン化が進み、地方からも参加しやすくなっています。

新潟支部からも本部事業への参加を希望される方は是非お申し出ください。また、本部によるデジタルアーカイブは積極的に参加活用したいと思います。

ほかに出席者の自己紹介があり、それぞれが趣味などを紹介し、和やかに進行されました。

会議は最後に支部担当から事務連絡があり、定刻通りに終了しました。意見交換はその後もメールを利用して活発に続きました。

(報告:大淵智絵)

支部・会員の近況報告 2021年4月～6月

【支部事務局】

日付	活動内容
5月10日(月)	第1回役員会、運営会議 オンラインにて 新年度体制の顔合わせとして、すべての役員、監事、部会長が揃い、役割分担、スケジュール確認、6月例会と学習会について等を話し合いました。
5月23日(日)	全国支部長会議出席 詳細は4頁です
6月7日(月)	第2回役員会、運営会議 オンラインにて。支部奨学賞の応募要項、会報発行、6月例会と学習会について等を話し合いました。
6月17日(木)	今年度新潟支部奨学賞の応募要項を県内の大学13校(※)に発送しました。詳細は7頁です。
6月21日(月)	今年度(本部)国内奨学賞の応募要項を県内の大学9校(※※)に発送しました。
6月26日(土)	6月例会、男女共同参画部学習会をオンライン開催しました。 坂東真理子さん講演会 新潟県女性財団 女と男フェスティバル「アンコンシャス・バイアスを超えて」受講。支部例会男女共同参画部学習会「坂東真理子さんの講演を聞いて話し合う会」詳細は次号で報告します。

【新潟県立大学後援会に関して】

5月25日(金)	総会が書面により開催され、表決書の提出により参加しました。(顧問、大淵智絵)
6月14日(月)	当会より新潟県立大学創立10周年記念募金に寄付をしました。大学のグローバル活動支援事業、就学支援事業、学生生活動施設等支援事業などに活用されます。

【にいがた女性会議に関して】

5月8日(土)	第34回総会が書面により開催され、表決書の提出により参加しました。(団体会員)
6月5日(土)	運営委員会会議に出席しました。(高橋令子)

【新潟県女性財団に関して】

6月9日(水)	定時評議員会に出席しました。(評議員、高橋令子)
---------	--------------------------

このほかに、支部長副支部長打ち合わせ、会報担当者打ち合わせ、部会打ち合わせを行いました。

※支部奨学賞応募要項送付校(順不同)

新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟国際情報大学、新潟産業大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、敬和学園大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学

※※国内奨学賞応募要項送付校(順不同)

新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学



(一社) 大学女性協会から贈られた祝傘寿のハガキを手にして

長谷川 道子

コロナ禍で自粛生活中の今、できる限り自然体で素直に自分を振り返ってみた。早起きして、みずみずしく咲きはじめた紫陽花や今が盛りのバラの花、楚々と咲く紫露草に心を癒しながら、一際緑が冴えてきた防風林の脇道を歩くのが至福の時である。鶯のさえずりを後方に、目前を悠々と横切り林の中に帰る雌雄のキジ、まさかの「カッコー」と懐かしい鳴き声も聴かれて一瞬にして心が故郷の北海道へと移った。カッコー鳥が鳴き始めると北海道では本格的に農作業開始である。屯田兵として入植した祖父の家族と共に育った私の貴重な思い出は山程ある。2017年に大学女性協会の全国交流親睦北海道旅行に参加できた事が思いの山をより高くした。

北海道から夫の転勤で新潟に来たのは、折しも新潟地震が発生した1964年6月16日であった。借りてあった一部屋では、被災した上司家族との二世帯生活が始まった。長男が生まれてから、新潟友の会に入り幼児生活グループを5組の母子で設け、幼児の衣・食・住・しつけの実習をしていた。同窓の大学婦人協会会員、伊藤フミ様にグループ活動を見てもらった折、大学婦人協会入会を勧められた。20人以上は出席していると思われる月例会を見学した。活発な意見交換がされ次々と議題がまとめられていた。快い緊張感を覚え入会を決め、今日に至っている。

大学婦人協会の設立以来の目的に沿った活動である、奨学賞の授与、調査研究、会員相互の親睦等々から学び教わる事が多大であった。達成できた時の満足と喜びは格別である。2012年4月1日、本部が名称移行するに伴い、支部も一般社団法人大学女性協会新潟支部へと名称移行した。2013年度支部長であったことから新潟支部規約の作成に当たり、優秀な会員や役員方との協力で度重なる真摯な意見交換、手際良い仕事の進行で2013年9月28日に規約成立したときの饒舌に表しがたい感謝は大きなものであった。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、総会・セミナー・シンポジウム等、人の集まりを避けオンラインで殆どが施行されているが、各地の目的を同じくする会員との交流は、何にも代えられない通じ合えるものである。

北海道親睦旅行は今迄と異なる、目から鱗の北海道を楽しんだ。とはいえ、脳裏に浮かびくる懐かしい思い出は記すと枚挙に暇がない子どもの頃の四季折々のものである。遠足で度々訪れた朱鞠内湖^{しゅまるとい}には今も-40℃以下の標柱が残されている。目覚めると寝息が衿元のみならず睫毛から眉毛まで凍り付き手で温め目を開く。学校のストーブの周囲には生徒の濡れた藁履(わらぐつ)の干し場、藁草履(わらぞうり)は、夏に蜜蜂をソツ!!と挟み、潰さぬ様に胴体で二分して露玉のような蜂蜜の甘い美味しさを味わうに使った。食物に偏るが真冬の下校時はイタヤカエデの樹に出来た、ほんのり甘いつららを食べ、雪溶け時はネコヤナギの花の蜜をチュウチュウ吸いながらの帰宅。急いで帰らないと家にはマメの種選り、ランプのホヤ磨き、家畜の餌切り、水やり等々決められた手伝いが残されている。春の山菜摘みや秋の茸採りは、夕食用の楽しい材料集めであった。遠い中学校も厳寒な凍った天塩川の上をスキーで横切り近道が出来て楽しい登校。しかし、小学校帰宅時に、小川の氷の上の近道で薄い氷が割れ友達に川に落ち氷の下を流れて下流で助け出した時は学校で叱られた。短い距離でも見えない状態は不安で怖かった。

そして今は、大学女性協会の親睦旅行での感動である。G7開催会場にもなったウィンザーホテル洞爺からは、目前に湖と中島、その向こうに羊蹄山がくっきりと見え、昇ってくる朝陽が夢の世界に誘った。ホテルを出るに際しては清楚な外国の女性がロビーのひと隅で静かにハーブを奏でて見送られた。二度と味わえない体験である。見過ごしていた北海道の歴史や自然が今さらの様に大切に思われた。

コロナ禍の下、温故知新を実感している今日この頃である。これからは80の手習い、知りたいことを知るのにスマホの馴使を学びたい。

新潟支部奨学賞は次の通り募集をいたします。ぜひ、周囲の女子学生に広報のご協力をお願いします。



JA UW-Niigata 一般社団法人大学女性協会 新潟支部

2021 年度 奨学賞 応募要項

当会は、女子の高等教育の推進・女性の地位の向上・国際理解と協力を目的に、70年以上にわたり活動している団体です。これらの活動に対し理解と共感を持つ女子学生を対象に、その勉学と研究活動を奨励することを目的として奨学賞を設け、奨学金を給付します。

1. 応募資格 新潟県内の大学の各学部・大学院で学ぶ女子学生（過去の受賞者を除く）
2. 支給額および募集人数 5万円 若干名
3. 応募書類 以下の書類を応募者本人が下記まで郵送のこと

① 小論文「コロナ禍を通してジェンダー平等社会を考える」 副題を必ずつけること

現代の日本社会では、女性の活躍への期待が高まっています。しかし、女性の社会進出等を示す国連のジェンダー指数から見る日本の女性の地位はまだ低い状態です。また、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響は、女性の弱い立場をクローズアップしました。更に、この新型コロナウイルス感染禍において、新しい視点での価値観や取り組みが急速に広がりました。このような状況の中でジェンダー平等社会について考えたことを、ご自身の実感や経験を踏まえて書いてください。

用紙：A4 立て向き 3 ページ以内 書式：日本語 横書き
字数：本文 3000 字以内、文末に文字数を記載する
その他：論文要旨を 400 字以内にまとめ添付する 未発表のもの

*採用となったとき、お名前、所属、タイトル、要旨文、集合写真は、当会が発行する印刷物等で公表いたします。また採用となった小論文は、文集としてまとめる場合がありますのでご承知おきください。

用紙：A4 立て、3 ページ以内 形式：和文
字数：本文 3000 字以内、文末に文字数を記載する
その他：論文要旨を 400 字以内にまとめ添付する 未発表のもの

- ② 成績証明書 1部 ※応募時点で直近の成績証明書を取り寄せること。原本に限る。
- ③ 申請書 (下記 JA UW 大学女性協会新潟支部のウェブページから印刷して使用)
- ④ 履歴書・自己紹介書 (下記 JA UW 大学女性協会新潟支部のウェブページから印刷して使用)
4. 応募期間 2021年9月1日(水) から10月10日(日) まで 締切日必着
5. 応募書類送付先 〒950-2099 新潟市西区寺尾前通 25-10 新潟西郵便局留
(一社) 大学女性協会新潟支部 あて
6. 問い合わせ 下記の新潟支部ウェブページ「問い合わせフォーム」をご利用下さい
大学女性協会新潟支部ウェブページ <http://jauwniigata.blog.fc2.com/>
参考：一般社団法人大学女性協会 (JA UW 本部) ホームページ <http://jauw.org/>
7. 結果通知時期 11月上旬 本人および大学に通知します
8. 授与式 第72回奨学賞授与式
2021年12月4日(土) 新潟市内

以上

今後の予定

新潟支部行事

- ・9月25日(土) 9月例会、社会学習部学習会
- ・12月4日(土) 第72回支部奨学賞授与式
- ・1月22日(土) 1月例会、国際交流部学習会

本部行事

- ・全国セミナー (詳細は本部からの案内をお待ちください)

(1) 日程: 2021年11月14(日)

(2) 開催方式: 対面とオンラインの併用

(3) メインテーマ: 「教育・ジェンダー・共生～コロナ後の共生社会を支える教育～」

基調講演 講師: 西澤直子氏 (石川県立大学学長、東京大学名誉教授、日本学士院会員、農芸化学者)
リレートークなどのセッション、委員会・支部報告発表

9月25日(土) 社会学習部学習会は、会員の五十嵐由利子さんを講師に、支部奨学賞の応募論文の読み方について改めて学びます。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。

連絡

- ・「新潟市女性人材情報カードについて

アルザにいがた(新潟市男女共同参画課)より「新潟市女性人材情報カード」提出の協力依頼の連絡が来ています。このカードは、新潟市男女共同参画課が主催しており、あらゆる分野の政策・方針の立案・決定・実施・評価の場へ女性の参画を促進するとともに、審議会などの委員への女性の参画を積極的に推進することを目指した情報提供の取り組みです。ご協力いただける方は、新潟市男女共同参画課(TEL:025-226-1061)へご連絡ください。

- ・本部「80年記念募金パトリア」について

大学女性協会の主な事業は現状の問題点を見出し、解決の方法を探るためのシンポジウムやセミナーの開催と、調査・研究活動、それから次の世代を育てるための奨学・奨励事業です。これらの事業を将来にわたって末永く継続して行けるようご協力をお願いします。

期間: 2021年4月1日～2026年3月31日(5年間)

目標金額: 毎年100万円 5年間で500万円

寄付金額: 一口5,000円

パトリア寄付口座 ゆうちょ銀行 00130-0-587701 一般社団法人大学女性協会

編集後記

会報No.4をお届けいたします。

総会を経て、新支部長の下、情報提供の見直しを心掛けたいと、会報は内容をなるべく細やかにお伝えできるように紙面作成に心を砕きました。原稿をお寄せくださいました長谷川さんには心より感謝申し上げます。会報担当者は各自出来ることを出来る範囲で当たってまいりましたが、ご覧いただいた感想などお寄せいただければ幸いです。

会報担当 登坂 美江子

会報担当(五十音順)

大淵、鈴木、登坂、三上、吉谷

新潟支部会報No.4

(一社) 大学女性協会新潟支部

<http://jauwniigata.blog.fc2.com/>

発行人、編集責任: 大淵智絵

発行日: 2021年7月15日